

▶執筆 人権教育課 (市役所内線 4012)

地下鉄での出会い

先日、大阪で久々に地下鉄に乗った時、40数年前の出来事を思い出しました。

* * *
今では車いすに乗っている方を見かけることは珍しくありませんが、当時はめったに見かけることはありませんでした。そんな折、車いすに乗った方とその介助者の方が、地下鉄の階段を降りられずに困っておられる場面に遭遇しました。それは、西脇暮らししかしていなかった私にとって、初めて目にする光景でした。私は良かれと思い、介助者の方に「一緒に運びましょうか」と声を掛けました。すると車いすに乗った方が、「私は物ではありません！それに声を掛けるのなら、私に対して掛けるべきでしょう！」と大激怒されました。確かにその通りです。車いすに乗られている方に「お困りですか。よろしかったらお手伝いしましょうか」と声を掛けるべきだったと猛省しました。



当時は、障害のある方も人目を気にしてか、なかなか外出できない時代だったように思います。それに加えて、ユニバーサルデザイン化が進んだ現在とは違い、ハード面でも障害のある方の社会生活は大きく制限されていました。このことがご縁で、この方と毎週出会うようになったのですが、後に「まず、私のような車いすに乗っている人間がいるということを社会に知ってもらわないと、私たちの生活は一向に良くならない。そのために私は、用もないのに毎日外出しているんですよ」と言われました。「そよ風のように街へ出よう」がこの方たちの合言葉でした。しかし、実際は大きな向かい風だったことと思います。向かい風に立ち向かう勇気が、今のユニバーサルデザイン化が進んだ社会の礎になったのではないのでしょうか。



鈴木貫太郎書の刻字 大正13 (1924) 年建設の経緯度交差点標柱



西脇市が「日本のへそ」と呼ばれるきっかけとなったのは大正8 (1919) 年に多可郡で行われた小学校教師の研修会で、講師として招かれた肥後盛熊氏が「ここには日本の中心に当たる東経135度と北緯35度の交点がある」と指摘したことにさかのぼります。その指摘から多可郡教育会(当時)は、学制頒布50周年記念事業として標柱の建設を決定。陸軍参謀本部陸地測量部の小野原次郎氏と大野幸太郎氏が交点の位置を特定し、大正13 (1924) 年に標柱が建てられました。標柱の文字の揮毫は、当時の鈴木貫太郎海軍大將が行いました。同氏は太平洋戦争終戦時の内閣総理大臣で、ポツダム宣言を受諾した人物です。

ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪

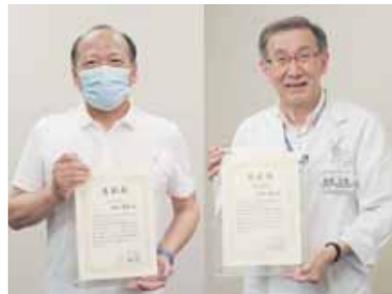
▼問合せ 郷土資料館 (☎235992)

市長からの手紙

ー西脇を元気に!!ー



西脇市長 片山象三



西脇市多可郡医師会の村上典正会長(左)と西脇病院の岩井正秀病院長

いつまでも健康に暮らせるま
ち・西脇
令和2年9月からスタートした健幸運動教室NiiC.Oは、順調に参加者が増えており、高血圧、血糖値などの改善効果だけでなく、体力年齢の8・2歳若返りなど、全国の中でもトップクラスの成果が出ています。大変うれしいことです。本市が、健幸運動教室やフレイル(虚弱)予防事業などに安心して取り組めるのは、医師会や歯科医師会、薬剤師会、そして西脇病院との強固な連携があるからです。

これは本市の健康づくりを進める上で最大の強みであり、コロナ禍における発熱トリアル・外来の運営やワクチン集団接種などにも十分に発揮されました。7月11日には、東京大学など日本を代表するフレイルの研究者の皆さんを前に、本市の健幸運動教室などを事例発表する機会に恵まれたほか、7月14日には医師会と西脇病院、市がそろって東北医科大学科大ヘルスケア・フォーラムから「医療と地方創生大賞2022」を頂くなど、本市の健康施策に対する注目度は高まりつつあります。これも平成19年の西脇病院小児科の危機に端を発した市民の「地域医療への理解」と「医療関係者の献身」という全国に誇れる2つの宝があるおかげと感謝しています。皆さんがいつまでも健康で幸せに暮らせる「健幸都市・にしわき」をともに創ってまいります。

みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー

夏の夜のひとときを楽しく過ごそう

4年ぶり開催!にしわき市・黒田庄夏まつり

黒田庄まちづくり協議会では、「千年の風土を未来につなぐNEW黒田庄づくり」をまちづくりの目標とし、参画する人々が話し合い、主体的に計画を実践しながら、地域課題の解決を目指し、事業に取り組んでいます。

8月16日(火)には、地域の交流の場を提供するとともに、市の活性化と黒田庄地区のまちづくり推進のため、盆踊りや打ち上げ花火、福引きを行う第43回にしわき市・黒田庄夏まつりを開催します(12月に関連記事)。



西脇の自然 581

ニラ

ゆり科



野菜のニラと同じものです。日本に自生していたのか、中国から野菜として輸入して栽培されていたものが野生化した「逸出植物」か、はっきりしないそうです。

野生のニラの葉を料理して食べることはできるようで、インターネットでは野生ニラを採取して料理しているサイトもあります。ただし、よく似ているスイセンやハナニラを間違っていると、下痢や嘔吐を起こすそうなので、野生のものは注意が必要です。

8~9月に花茎の先に白い星型の花をたくさん咲かせます。残暑厳しい時期に、いかにも涼しげな花を見ると、秋の到来を感じてうれしくなります。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】